

### 栃木県の日光街道

#### 地域の皆さんといっしょに、みちづくり、まちづくりを進めます。

栃木県内の日光街道沿線自治体では、街道の歴史的遺産などの発掘・保存や文化の継承、歴史や文化を生かしたみちづくり、まちづくりを進めています。400年という時を超え、未来への夢をつなげる日光街道。ここ栃木県でも、地域の大切な文化を地域の皆さんといっしょに活力ある「みち」、魅力ある「まち」へ創造していきます。

#### 日光街道ルネッサンス21推進委員会

栃木県商工会議所連合会、栃木県観光協会  
日光東照宮、下野新聞社、NHK宇都宮放送局  
日光市、今市市、宇都宮市、石橋町、上三川町  
南河内町、国分寺町、小山市、野木町  
国土交通省宇都宮国道事務所、栃木県

【お問い合わせ】  
国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所 調査課  
〒321-0931 宇都宮市平松町504 TEL.028-638-2185  
栃木県土木部道路建設課  
〒320-8501 宇都宮市鳩田1-1-20 TEL.028-623-2409  
日光市建設課  
〒321-1492 日光市中鉢石町999番地 TEL.0288-54-1111(代)  
今市市建設部道路河川課  
〒321-1292 今市市本町1番地 TEL.0286-22-1111(代)

2002.2.03  
鉢石宿から今市宿までのウォーキングお疲れさまでした。  
「マツノキ」は日光街道のシンボルです。ご利用ください。

#### 4 浄泉寺

元應3(1572)年に建立されたといわれ如来寺の末寺です。慶安4(1651)年、家光(大猷院殿)の御宝棺が日光山に向かうとき、ここで小休止したといわれます。

#### 5 回向庵

江戸時代初期に、如来寺の僧侶の住居として建てられ、享和元年(1801年)に造られた地藏菩薩や子育て地藏尊が祀られています。

#### 7 如来寺

阿彌陀如来を本尊とする浄土宗の寺です。寛永9(1632)年、3代将軍家光が東照宮造営のために如来寺御殿を建設し、ここに逗留しました。

#### 8 報徳二宮神社

安政3(1856)年10月、二宮尊徳は70歳で今市報徳役所で没しました。尊徳は墓石を建てると遺言。この遺言を守りつつ、尊徳の遺徳を偲ぶ人達によって建てられたのがこの神社です。

#### 9 蔵助地蔵

参道入口左側にある首の欠けたお地蔵様は戦国時代の土工 蔵助が建てたものです。移動のため最近掘り起こしました。旧今市村に残存する地蔵菩薩像の中で、歴古(1557年作)であることがわかりました。

#### 11 並木ホテル

七本桜の一里塚に立っています。この空洞の中は大人4人くらいが入れるほど広い「ホテル」と呼ばれています。

#### 12 桜杉

杉の割れ目に桜の種が落ち、杉の体内を通じて地面に根をおろし、芽を吹いたものです。ちょうど人の背の高さに幹の割れ目があって、そこに山桜が寄生して、一本の木のようになっています。

#### 人の集まりがにぎやかな市場となった。今市宿

日光街道の中で、例幣使街道と会津西街道が合流する重要な宿駅でした。今市宿を通る道の中央には水路が走っていました。本陣は中町に一軒あったものの、天保14(1843)年に火事で焼失しています。また、江戸と日光を結ぶ通信を取り扱う飛脚番が2人いました。もともとは「今村」と呼んでいたのが、宿駅となってから、近の人々が移住してきて、市場となり、にぎわようになったので「今市」宿となったようです。毎月、1日と6日の日を定めた日として市をたてていたといわれています。しかし、残念なことに、慶応4(1868)年の戊辰戦争で、宿のほとんどが焼けてしまい、町並みに江戸時代のものは見当たりません。

#### 杉並木公園

日光杉並木街道保護と地域の文化を伝えるために整備した公園です。地域文化を伝える施設としては、水車や民家を復元しています。今市市では杉線香の生産が盛んですが、その動力として、かつては水車が使われていました。また、米つきや粉ひきにも水車が見ることができました。民家については、歴史的に価値があり、重要な文化遺産である天保元(1830)年に建てられた旧江運家(約90坪)と、二宮尊徳の報徳仕法による住宅である報徳仕法農家(約30坪)の2棟を復元してあります。

#### 今市宿市緑ひろば

#### 9 蔵助地蔵

#### 8 報徳二宮神社

#### 例幣使街道

例幣使街道は、日光例幣使道ともいいます。日光東照宮の大祭に朝廷から遣わされた例幣使が通行した街道です。道順は倉賀野で中山道と分かれ、玉村、木崎、太田、梁田、天明、栃木を経て栃木(にれぎ)まで23里1町、14宿を例幣使街道とよんでいます。例幣使街道の杉並木は、今市から小倉までの13.9kmです。

#### 【主な行事 今市市祭り】

弓取り童子	中島三所神社(小倉)	3月第2日曜日
岩崎観世音大祭	岩崎観世音堂(岩崎)	3月最終日曜日
滝尾神社例大祭	今市市	4月14・15日
今市田植祭り	今市市内(毎年場所移動)	5月第4日曜日
さつき花の祭展	今市宿市緑ひろば	6月上旬
杉並木マラソン大会	日光杉並木街道	8月第1日曜日
報徳神社例大祭	報徳二宮神社(小倉)	11月17日
フリーマーケット	今市宿市緑ひろば	毎月第2土・日曜日

#### 知ってなるほど! 今市市は線香で有名

今市で生産される線香には、杉線香と句線香があります。杉線香と句線香の間には、生産量では大差はありませんが、出荷額に占める杉線香の割合は、全体の20%弱にすぎません。これら今市産の線香は、東京を中心に出荷されますが、関東・東北地方が主要な流通区域です。現在、線香、製粉を合わせた今市の線香工業は、約28億円規模の産業になっています。

#### 1 瀬川の一里塚

江戸から34里目を示す一里塚で、現在も道の左右に残っています。

#### 2 滝尾神社

勝道上人が日光に滝尾を祀ると同時に、この地にもこれを祀ったと伝えられています。

#### 3 今市御蔵跡

宿内で消費される米をまかなうために、江戸幕府は下野国内の幕府領で納められた年貢米を集め、今市宿の上町(現在の春日町付近)に建てた米蔵(今市御蔵)に貯蔵し、米問屋を通して売りさばっていました。この蔵は現在の今市小学校の裏側にありましたが、残っているのは門柱の基礎に使われた石だけです。

#### 東武今市駅

ギャラリーと水車のある木造平屋建ての小さな駅です。

#### 歴史の小道 唐人小屋

日光参詣の朝鮮通信使が、日本にやって来た時に、その宿舎として新造した建物の跡です。1万余両の費用をかけて建設したといわれています。將軍が宿泊する御殿に対してへりくだって小屋と書かれたといわれ、杉並木公園の一部を含んだ地域にこの地名が残っています。

#### 6 今市町道路元標

道路元標とは、道路の起点・終点または経過地を表示するもので、現在は国道119号線と相生町(相の道通り)のT字路にあります。設置年代がなく、いつできたかわかりませんが、法律の制定前からあったものと思われる。

#### 10 追分地蔵尊

例幣使と御成の両街道の追分に立つ巨大な石の地蔵です。はじめ今市宿の如来寺に安置され、さらに寛永2(1625)年に、この追分に移されたといわれています。

#### 日光街道杉並木まつり(大名行列)

毎年11月3日に大名行列を中心とした豪華な時代絵巻がくり広げられます。

# 日光街道

歩く・楽しむ・発見する

日光街道ルネッサンス21

日光街道

鉢石宿/今市宿 Walk 1